



	試算の前提	1機1回あたりの活動				1機1時間あたりの活動		同時運航機体数
		散水量	散水時速度	散水時高度	散水密度の比較 (※2)	散水回数 (取水地からの往復所要時間)	散水量	
 <p><b>消防防災ヘリ</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 散水時間及び散水量は実績を反映 (※1)</li> <li>・ 散水箇所は可能な限り実績を反映するほか、延焼速度が速い箇所や実焼損範囲外枠に近い箇所にも散水するものと想定</li> </ul>	500ℓ	20knot	30m	1	11回 (渡良瀬川から往復所要時間5分)	5,500ℓ	4機
 <p><b>自衛隊ヘリ</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 散水時間及び各日の散水量は実績を反映 (※1)</li> <li>・ 散水箇所は可能な限り実績を反映するほか、延焼速度が速い箇所や実焼損範囲外枠に近い箇所にも散水するものと想定</li> </ul>	5,000ℓ	20knot	150m	0.4	5回 (松田川ダムから往復所要時間15分)	25,000ℓ	4機

(※1) 参考資料2 消防防災ヘリ、自衛隊ヘリ及び飛行艇ごとの散水時間・散水量等 参照

(※2) 参考資料3 消防防災ヘリ、自衛隊ヘリ及び飛行艇による散水密度の比較 参照